



▶(左から) 協定書を手にする高橋町長 佐藤正紀理事長

災害時における通信復旧を強化 NTT東日本福島支店と協定

町は、東日本電信電話株式会社福島支店と6月30日、役場で「災害時における通信復旧等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害により大規模な通信障害などが発生した場合に、両者が緊密に連携し、情報の

共有や復旧作業への協力を行い、避難所などへの特設公衆電話の設置など、通信設備の速やかな復旧を図ることを目的としています。

町では、引き続き、安全・安心なまちづくりに向け、取り組みを強化していきます。



▶(左から) 協定書を手にする高橋宣博町長 畠山良平支店長

災害時の要配慮者の安全を確保 あつかし荘を福祉避難所に

町は、社会福祉法人信達福祉会と「福祉避難所の設置運営に関する協定」を7月12日、役場で締結しました。

この協定は、災害発生時、特に配慮を要する人の避難にあたり、特別養護老人ホーム「あつかし荘」を福祉避難所として

利用するため、両者における連絡調整および費用負担などを協力することにより、避難者の安全と良好な避難生活を確保することを目的としています。

町では、引き続き、危機管理体制の取り組みを強化していきます。

健康長寿で元気な町へ こおり健康楽会ワーキング会議

「健康長寿で元気なまち」に向け、効果的に健康づくり事業を展開するため、「こおり健康楽会ワーキング会議」が7月1日、役場で開かれました。

こおり健康楽会は、5月23日に、町の健康事業の今後の展開について話し合う本会議を実施。今回はより具体的な施策などの検討を行うため、薬剤師や野菜ソムリエ、大学生な



1・2 健康長寿で元気な町を目指すため、何ができるのか、活発に意見を交わすメンバーたち

ど、13人のワーキングメンバーが参集。「減塩」「歯・口腔」「運動」「まちづくり」など、子どもから高齢者までの健康づくりについて、地産地消や男女共同参画、高齢者福祉、SDGsなどの視点から多くの意見が出されました。

今後も、ワーキング会議メンバーとともに、こおり健康楽会事業を展開していきます。

認知症サポーター養成講座 地域で見守ろう「認知症」

町地域包括支援センターによる、醸芳小学校5年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」が7月4日、同校で行われました。

講座では、認知症の症状などを学び、「こんな時はどう声をかける？」などとグループで話し合



▶教育長の言葉で、気持ちを引き締まる中学3年生

いながら理解を深めました。講座の最後には、サポーターの証であるオレンジリングなどが配られ、「キッズサポーター」となった児童たち。「認知症は脳の病気だと分かった」「見かけたらやさしく接したい」との感想が聞かれました。



▶オレンジリングを掲げ「キッズサポーター」となった5年生

桑折学習塾スタート コツを覚えて楽しく勉強

中学生を対象とした桑折学習塾の開講式が6月25日(3年生)と7月2日(1・2年生)に、イコーズで行われました。

「勉強のコツが分かって良かった!」と毎年好評の本塾。1・2年生は、教育委員会の指導主事や教員OB、福島大学の学

生ボランティアから、学習習慣づくりと学習意欲向上を学びます。3年生は、福島市の進学塾「名城塾」の講師を迎え、数学と英語を学び、受験対策に臨みます。

■参加者随時受付中!
■教育文化課
58212403

長年にわたり消防活動に尽力 春の叙勲「瑞宝単光章」受章

令和4年春の叙勲で「瑞宝単光章」を受章された、元町消防団長の佐藤富博さんの表彰伝達式が6月23日、役場で行われました。式では、県北地方振興局の石本仁局長から表彰を伝達され、長年の活動に感謝の意を表されました。

佐藤さんは、昭和58年から36年間、町消防団で町民の生命、財産を守るべく、消防・防

災活動に多大に貢献しました。

高橋町長は、「消防・防災活動に尽力いただき感謝している。町も、消防・防災の強化や生活安全対策の推進に取り組み、みんなが安全・安心に暮らせるまちをともに創るため、危機管理体制の強化に努める。引き続き、ご協力をお願いしたい」とその功績をたたえました。



1 (左から) 石本局長、佐藤さん、高橋町長 2 表彰の伝達を受ける佐藤さん